

## 閉会中に決算特別委員会で集中審査 平成18年度各会計決算を賛成多数で認定

九月定例会で提案があり、閉会中に審査を行いました平成十八年度各会計決算の認定議案は、十二月三日(月)の本会議で、長野決算特別委員長から審査結果報告を受け、表決を行った結果、賛成多数で認定しました。審査の中で出された意見、要望の一部をお知らせします。

- ・ 総務費では
- ・ 地区集会所施設の充実に
- ・ 市職員の健康管理を
- ・ 民生費では
- ・ 緊急通報システムに工夫を
- ・ すすく学級に正規職員を
- ・ 配置し、場所も広くすべき
- ・ 児童扶養手当は母子家庭の
- ・ 命綱だ。制度が改悪されな
- ・ いよう、市として取り組む
- ・ べきだ
- ・ 衛生費では
- ・ AEDの使用講習会と啓発
- ・ 活動を充実すべき
- ・ ごみ収集のバイブラインの
- ・ 補修工事に工夫を
- ・ 労働費では
- ・ 団塊の世代の退職もあるこ
- ・ とから、シルバー人材セン
- ・ ターを充実すべき
- ・ 農林水産業費では
- ・ アライグマ対策の充実に
- ・ 土木費では
- ・ 駅前の放置自転車対策の強
- ・ 化を求める
- ・ 山手幹線事業では工事の細
- ・ 分化により、高値での工事
- ・ になっている。おかし
- ・ ではないか
- ・ 市営住宅建てかえの長期計
- ・ 画を策定すべき
- ・ 教育費では
- ・ 奨学金制度を充実すべき
- ・ 学校のIT化、OA化を適
- ・ 切に実施すべきだ。省力化
- ・ により、教員が子供と接す
- ・ る時間を確保し、教育力の
- ・ 向上を求める
- ・ 学校が機械警備になったこ
- ・ とにより、教師の負担増に
- ・ ならないように
- ・ 給食に必要な機具や職員

## 可決した意見書(抜粋)

高齢者バス運賃半額助成制度の早期復活を求める要望決議

高齢者バス運賃半額助成事業(高齢者バス運賃割引証方式)は、高齢者が家に閉じこもることなく、市内や地域において活動し、その社会参加の機会を促進するために設けられた制度であったが、厳しい財政状況のもと、平成15年4月から、現行のバス運賃年額3千円の定額助成制度に改められた。

本市財政も、徹底した内部努力と事務事業の見直しを行った結果、一応の財政再建のめどがついた現在、高齢者バス運賃半額助成制度の早期復活を強く求めるものである。以上、決議する。

地方の道路整備の財源確保を求める意見書

道路は、国民生活や経済活動を支える社会基盤である。本市では、阪神・淡路大震災からの早期復旧とまちの復興のために街路事業や区画整理事業により環境に配慮した道路整備と魅力ある道路づくりに取り組んできた。

今後は、良好な環境の保全、景観形成、交通安全対策、歩行空間のバリアフリー化などの、より一層の充実が求められており、多額の財源が必要である。

政府におかれては、道路の特定財源の見直しにあたり、道路整備、補修及び維持管理を着実に推進するため、道路特定財源として地方公共団体への配分割合を高めていただくよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、国土交通大臣

割賦販売法の抜本的改正に関する意見書

近時、クレジット取引を利用した住宅リフォームや寝具等の次々高法をはじめとする悪質な販売行為や、利用者の返済能力を超える過剰なクレジット契約等が大きな社会問題となっている。

国におかれては、割賦販売法の改正に当たって、クレジット契約を利用した悪質商法の被害防止と消費者の被害回復のため、下記の事項を実現されるよう、強く要望する。

1. クレジット事業者は、違法な取引に利用された場合、販売業者とともに無過失共同責任を負うこと。
2. クレジット事業者は、違法なクレジット取引による被害防止のための調査等、不適正な与信を防止すること。
3. クレジット事業者は、過剰与信の防止のための調査義務を負うこと。
4. 個別割賦購入あっせん取引では、登録制度の導入と契約書面交付義務を課すこと。
5. 指定商品制及び割賦要件を原則廃止すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、経済産業大臣

兵庫県新行財政構造改革推進方策(第一次案)の見直しを求める要望決議

本市では、阪神淡路大震災からの復旧・復興事業の影響等による危機的な財政状況を克服するため、「行政改革実施計画」策定し、財政再建に取り組んできた。

市議会は、平成16年9月に行財政改革調査特別委員会を設置し、問題点の指摘や改善策の提起を行う一方、国・県に対し財政支援の要望活動を行ってきた。

今回、兵庫県から新行財政改革推進方策(第一次案)が示されたが、本市の財政及び市民生活に重大な影響を及ぼすものが多数含まれている。

よって、本市議会は、兵庫県が、行財政構造改革に取り組むに当たり、より一層内部努力に取り組むとともに、県市で協調して取り組んでいる事務事業等を見直す場合は、改めて各市町と協議の上で計画を策定すること、また、実施に当たっては、各市町に向き、行財政構造改革の必要性や県民サービスの見直し内容など、十分に県民に対する説明責任を果たすよう強く要望する。

以上、決議する。

## 人事案件

十二月三日(月)の本会議に、市長から人事案件の議案の提出があり、審議の結果、同意しましたので、紹介しま

す。(敬称略)  
教育委員会委員(任期・四年)

- ▽近藤 靖宏(こんどう やすひろ) 東芦屋町在住
- ▽村上市 恵美子(むらかみ えみこ) 岩園町在住
- ▽玉井 貴子(たまい たかこ) 呉川町在住



議員研修会を開催

本市議会は、11月30日(金)に議員を対象とする議員研修会を開催し、議員19名の参加がありました。研修内容は、「人生の春・夏・秋・冬と生き方10色 市民と議員の自己啓発」で、講師は神戸女子大学名誉教授の外園一人氏です。約1時間半にわたる充実した研修会でした。

## 付議事件の審議結果

議案番号欄「議提」とあるのは、議員提出議案。

議案番号	件名	結果
72	平成18年度各会計決算の認定	認定(12/3)
73	教育委員会委員の任命	同意(12/3)
74	人権擁護委員の候補者の推薦	同意(12/3)
75	人権擁護委員の候補者の推薦	同意(12/3)
76	国民健康保険条例の一部改正	可決(12/20)
77	都市公園条例の一部改正	可決(12/20)
78	自転車駐車場の設置管理条例の一部改正	可決(12/20)
79	19年度一般会計補正予算(第4号)	可決(12/20)
80	19年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(12/20)
81	市土地開発公社定款の変更について	可決(12/20)
82	市立地区集会所の指定管理者の指定	可決(12/20)
83	市立養護老人ホームの指定管理者の指定	可決(12/20)
84	火葬場の指定管理者の指定	可決(12/20)
85	山手幹線芦屋川横断区間の施行協定の変更	可決(12/20)
86	市職員の給与及び企業職員の給与条例の一部改正	可決(12/20)
87	南宮ポンプ場ポンプ設備工事請負契約の締結	可決(12/20)
5	高齢者バス運賃半額助成制度復活を求める要望決議	可決(12/3)
6	地方の道路整備の財源確保を求める意見書	可決(12/20)
7	割賦販売法の抜本的改正に関する意見書	可決(12/20)
8	兵庫県新行財政構造改革の見直しを求める要望決議	可決(12/20)
2	高齢者バス運賃半額助成の復活を求める請願書	みなし採択(12/20)
3	高齢者バス運賃半額助成の復活を求める請願書	みなし採択(12/20)
5	高齢者バス運賃半額助成の復活を求める請願書	みなし採択(12/20)
6	高齢者バス運賃半額助成の復活を求める請願書	みなし採択(12/20)
8	最低保障年金制度の創設を求める請願	不採択(12/20)
9	高齢者医療制度の実施凍結を求める請願	不採択(12/20)
10	保険でよい歯科医療の実現を求める意見書採択の請願	継続審査(12/20)
11	医療費の総枠拡大を求める請願	不採択(12/20)

## 陳情の委員会審査結果

陳情番号	件名	審査を行った委員会	結果
2	「後期高齢者」医療制度に関する意見書採択を求める陳情書	民生文教常任委員会	不採択(12/5)
3	悪徳商法被害を助長するクレジット被害を防止する意見書提出を求める件	民生文教常任委員会	採択(12/14)

## 都市環境常任委員会が北海道小樽市と北広島市へ視察 緑の基本計画と花のまちコンクールについて調査しました

都市環境常任委員会(長野三委員長)は、平成19年10月25日(木)~26日(金)に、北海道小樽市と北広島市への行政視察を実施しました。

小樽市では、平成16年7月、生き物が息づく豊かな自然の緑あふれるまちづくりを目指し「市民と育みどりあふれる、ゆとりあるまち小樽」を基本理念に緑の基本計画が策定され、緑の将来像の実現を目指しています。緑の保全、緑の創出、緑の普及と啓発を基本理念に各施策が展開されており、公園愛護会による管理

運営など、全市民の強力なバックアップが目立っていました。

北広島市の花のまちコンクールは、暮らしの中で取り組むことのできる「美しいまちづくり」の広がりを目指し、平成6年度から開催されています。企画や運営では、市民の意見を取り入れ、より親しまれるコンクールにしようと、検討が重ねられてきました。札幌の衛星都市として非常にまとまった印象を受ける北広島市での全市花いっぱい運動は、花の愛好会など多くの市民・団体の協力を得ており、一年中、花に囲まれた市だと感じられました。



北広島市で